

Dr. 宮田の土器が教えてくれる！ “昔の人の食べもの”を探ろう！

東京大学総合研究博物館の宮田佳樹特任研究員を招いて、上ノ国で見つかった土器の科学分析結果から昔の人の食べ物について解説してもらいます。また、第一部では、子どもたちを対象にオリジナル土器づくり体験を行います。

■日時

令和8年1月17日(土)

第一部 土器づくり体験

午後1時30分から午後2時30分まで

第二部 講演会

午後3時から午後4時30分まで

■場所

ジョイ・じょぐら

■その他

・第一部のみの参加も可能

・第一部の定員は20名です。

・申し込みは教育委員会備え付けのチラシまたは二次元コードからお願いします。



※この事業はサマージャンボ宝くじの収益金を活用して実施しています。



博物館前で記念撮影



お世話になったホストファミリー

報告会は日本との文化の比較を主なテーマとして行われ、生徒は自らの研修の成果を英語を交えて発表しました。生徒の一人は発表の中で「現地の方と満足に会話できない場面があり、もつと英語を勉強すべきだったと感じた。さらに英語力を高めて、再度海外に挑戦したい。」と語り、この経験が視野の広がりに繋がったことを伺わせました。

堂々と発表を行う姿からは、生徒が自信に満ち溢れていることが見て取れ、生徒の成長が感じられた報告会となりました。



報告会に登壇した海外研修参加者

11月28日(金)、ジョイ・じょぐらにて、上ノ国高等学校国際交流事業海外研修報告会が行われ、保護者や小中学生など多数の来場がありました。本海外研修は、これまで参加者数を5名として実施してきましたが、今年度からは希望者全員が参加できることとなり、これを受け、2年生9名と3年生4名の計13名が参加しました。生徒はニュージーランドでホームステイをし、現地の学生と一緒に数学や体育の授業のほか、先住民である『マオリ』の文化に触れる体験を通じて、伝統的な価値観や生活様式などについて理解を深めました。

報告会は日本との文化の比較を主なテーマとして行われ、生徒は自らの研修の成果を英語を交えて発表しました。生徒の一人は発表の中で「現地の方と満足に会話できない場面があり、もつと英語を勉強すべきだったと感じた。さらに英語力を高めて、再度海外に挑戦したい。」と語り、この経験が視野の広がりに繋がったことを伺わせました。

堂々と発表を行う姿からは、生徒が自信に満ち溢れていることが見て取れ、生徒の成長が感じられた報告会となりました。

図書だより

図書新着ごあんない

- * 宙色のハレルヤ
- * デモクラシーのいろは
- * さよならジャバウォック
- * スピーチ
- * 追憶の鑑定人
- * 彼女たちは楽園で遊ぶ

- 窪美澄／著
- 森絵都／著
- 伊坂幸太郎／著
- まさきとしか／著
- 岩井圭也／著
- 町田そのこ／著

新年は1月6日(火)からの開館です。

今年もどうぞご利用ください。

- * 三頭の蝶の道
- * 追跡
- * それいけ！平安部

- 山田詠美／著
- 伊岡瞬／著
- 宮島未奈／著

